










1991年のこの日にユネスコと国連によって「アフリカの独立した多元的な報道の促進に関するウイントフーク宣言」が採択されたことにちなみ、1993年に国連で定められた国際記念日。世界中の報道の自由を守り、仕事に命を落としたジャーナリストの業績を称えるための日。

世界の報道自由度ランキング (2023) 引用: <https://rsf.org/en/index>

1位	ノルウェー		176位	トルクメニスタン	
2位	アイルランド		177位	イラン	
3位	デンマーク		178位	ベトナム	
4位	スウェーデン		179位	中国	
5位	フィンランド		180位	北朝鮮	



問題：2023年の世界の報道自由度ランキングで日本は何位だったでしょうか？  
(答えは右下へ)

\_\_\_\_\_位 

私たちが情報と関わるうえで大事なこと (一例)

現在では報道関係者だけではなく、SNSや動画配信サイト・アプリなどを通じて、私たちが簡単に「メディア」として報道・発信することができます。

ここ数年で、SNS発祥のデモや運動、キャンペーンなどがネット上・現実双方で影響力を持つことが増えてきました。

こうした便利さの反面として、たった1回の安易なクリック・タップによる情報発信・共有によって、自分が知らぬ間に「加害者・共犯者」になるリスクがあることも、SNSなどのネットメディアを利用・活用するうえで認識しておくことが大切です。

情報を吟味・確認し、拡散・共有する場合は、その情報やタイミングなどが本当に適切なのかしっかり判断してから発信することが大切です。

状況・事態によっては「"知らなかった"では済まされない」ことにもなりかねないのです。




中国89号法: 異議

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

 FTCJ 活動ヒント 検索